

歯つらつ

2020年3月
288号

～発行所～
齋藤歯科診療所
由利本荘市美倉町
47-1

TEL 0120-24-4182
FAX 0184-24-1440
www.saitoshika.net

～診療時間～
曜日：月曜日～土曜日
時間：午前9:00～1:00
午後2:00～6:00

～休診日～
日曜・祝日
第2・4木曜日

インプラントについて

歯を失った後、その部分で咬めるようにするためにインプラント（人工歯根）治療を検討される方は少なくありません。しかし、インプラント治療は誰にでも適応できる治療ではありません。様々な条件があるため、精密検査をしてインプラント治療が可能かどうかを判断しなければなりません。

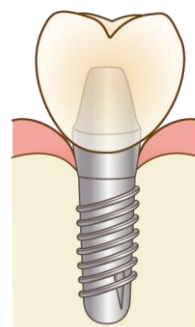
まず、インプラント体が埋められる場所の条件が良くなければなりません。歯の喪失後にインプラントが埋め込まれる骨が幼若であったり、幅がなかったりと土台がしっかりしていない場合、きちんと埋め込むことができません。不安定な状態になってしまいます。しっかり咬むことが出来ず長持ちもしない可能性があるため、事前にX

線写真やCT撮影をして、骨の状態の確認を必ず行います。

また、生活習慣や健康状態も大事な条件のひとつです。喫煙者、身体をゆつくり休ませる時間がない方や睡眠不足の方、糖尿病で感染しやすい方などは、手術後の経過が思わしくなくこともあります。そのため必要に応じて生活習慣の改善を行ったり、病院を受診してからインプラントの埋入手術となります。さらに手術後も良い習慣を継続していくことが必要です。

そして何よりもプラークコントロールと定期的なチェックが大事です。インプラントは天然歯よりも歯周病への抵抗力が弱いので、徹底したプラークコントロールが必要です。定期的にプラークコントロール

の状況確認とクリーニング、咬み合わせの確認をします。



インプラントのイメージ図

また、インプラントは骨に埋めて固定している状態であるため、歯ぎしり、くいしばり等の歯が揺さぶられる力に弱く、ナイトガード等での予防も必要になります。せつかく埋入したものが炎症をおこして悪くならないように埋入後もメンテナンスが必要となります。

インプラントは骨と結合させて作り上げていくものなので、骨としっかり結合するまでには数ヶ月かかりますが、上手にお手入れをすれば、しみたりすることもなく、しっかり

休診日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
1 休診	2	3	4	5	6	7
8 休診	9	10	11	12	13 休診	14
15 休診	16	17	18	19	20 休診	21
22 休診	23	24	25	26 休診	27	28
29 休診	30	31				

3月の休診日は右記の通りです。

患者様にはご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願い致します。



物を咬めるとお喜びの患者さんもたくさんいらっしゃいます。興味のある方は、ぜひスタッフにご相談ください。

問診票について

みなさんが病院等を初めて受診する際、問診票を記入してから問診を受けると思いますが、なぜ問診が必要なのか、問診票にはどんな項目が記載されているかをご説明します。

一、症状等の確認

(どこがいつからどのような状態なのか)

この情報を得ることで患者様の今の現状を把握でき、どういった治療が必要になるか判断することができます。

二、既往歴

今まで歯科以外で何か病気にかかったことはないか、他に治療をしているところはないか、アレルギーはないか、薬を服用中か等、患者様の体に関する項目です。

既往歴を知らせていただくことで当院で治療を行う際、患者様が安心して治療を受けられるように注意しなければいけないことをあらかじめスタ

ッフ間で共有することができ
ます。

女性の方へは現在妊娠しているか授乳中かお聞きすることがあります。これによりレントゲン撮影、麻酔使用の可否を判断させていただきます。

薬については、服用している薬と飲み合わせがよくないことがあります。当院でも投薬が必要になった場合、お薬手帳を確認させていただくことで薬のトラブルを防ぐことができます。

三、治療に関するご希望、ご要望

患者様がどのような治療を希望されているのか等、ご要望があれば相談させていただきます。今後の治療がスムーズにおこなっていただけるように配慮させていただきます。

また、通院中の方も服薬に変更があった場合等はお知らせいただける幸いです。このように問診させていただくことで患者様の情報をしっかりと記録し、患者様にご満足いただけ

る治療をおこなっていくことができます。何か気になることがあればいつでもスタッフに声をかけていただきたいと思います。

—三浦(博)—

ある日の スタッツフ

我が家の三男坊が今月で保育園を卒園します。いろいろな行事がありますが、矢島保育園では年長組になると毎月お茶会があります。お茶の先生にお願いをさせていただいて、立ち居振る舞いなどを勉強します。そして、その集大成としてお茶会参観があります。このお茶会参観が1月23日にありました。

保育園のお茶会とは言え凛とした緊張感があり、子供たちの立派な姿に感動しました。子供たちが立てたお茶を私たち父兄がごちそうになり、今度は交代して父兄が立てたお茶を子供たちにごちそうして、最後にお茶の先生にお礼の言葉を

言い、子供たち一人一人が「頑張りましたね」と先生からおしるし(証書)をいただいで参観は終了しました。

このお茶会参観は私にとつて3回目になるのですが、やはり最後は感激して、涙がにじんでしまいました。

小さい時からこのような伝統文化に触れることはとても良いことで、将来必ずいろいろな場面で役に立つと思います。



保育園での生活も残り少なくなってきましたが、たくさん思い出を作ったが、たいしたもの。また、三人の子供たち合わせて十五年間お世話になった保育園の先生方には、本当に感謝しております。ありがとうございました。

—高橋—